

## 令和5年度 第2回名取市社会教育委員の会議概要記録

○日時	令和5年11月8日(水) 13時30分～14時50分
○場所	仙台法務局名取出張所2階 会議室4
○出席者(6名)	和栗 幸一委員、伊藤 恵子委員、久米 智美委員、齋藤 勇介委員、金野 智津委員、鈴木 雅行委員
○欠席者(4名)	玉野井ゆかり委員、大野 英子委員、入間川 徹委員、本郷 一浩委員
○事務局出席者	教育長 瀧澤 信雄 教育部長 齋藤 正光 生涯学習課 課長 佐藤 徹也 課長補佐兼公民館係長 佐藤 浩 青少年・生涯学習係長 菊地 栄一 図書館長 加藤 孔敬
○傍聴人	なし

### 会 議 概 要

1 開 会 進行：佐藤課長補佐

#### 2 あいさつ

##### 瀧澤教育長

委員の皆様にはお忙しい中ご出席いただき感謝する。名取市でもインフルエンザが流行しており、先週から今週にかけて市内の学校で7学級ほど学級閉鎖の措置をしている。この頃はコロナの名前を聞かなくなり、コロナはだいぶ落ち着いてきたのではないかと思う。

今、市内の公民館では公民館まつりがたけなわで、半分近くは終わったが、今週末に5つの公民館で行われ、来週末にも2つ予定されている。様子を見に行ったが、従来のように発表や販売をしたり、フリーに人の往来ができたのも久しぶりだと思う。皆さん生き生きと生きているように感じる。そういった意味では、社会教育に関わる活動もほぼ元に戻りつつあるのかなと思う。名取市では先日秋まつりが盛大に行われ、主催者発表で2万人だったとのことである。

今日は上半期の事業について報告を行う。委員の皆様にはお気づきの点など忌憚のないご意見を頂戴したい。

公民館に関して、ご承知とは思うが11月1日から下増田公民館が新しく下増田児童センターとの合築でオープンした。区画内に下増田小学校もあり、連携も模索されている。そういったところも含めて皆様方のご指導ご助言をいただきながら、下半期、来年度に向けて取り組んで参りたい。

##### 鈴木議長

図書館に時々行かせてもらっている。いい雰囲気ですっきりした時間を過ごせた。楽しいお話をしながら会を進めていけたらと思う。よろしくお願ひしたい。

#### 会議成立の確認

名取市社会教育委員会会議規則第5条第1項により、委員過半数の出席を確認し会議成立を宣言した。

#### 会議公開の確認

名取市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条の規定により、公開の対象となる旨を告げる。

傍聴席を設けていたが、本日の傍聴者はなし。非公開の議事は予定していないが、非開示情報が含まれる内容となった場合、会議に諮り決定していくことを告げた。

### 3 議 事

名取市社会教育委員会会議規則第3条第2項により、鈴木議長が議長となり議事進行。

#### (1) 報告事項

##### 令和5年度上半期事業報告について

資料1により各担当から説明。

説明員	生涯学習課生涯学習・青少年係	菊地係長
	生涯学習課公民館係	佐藤課長補佐兼公民館係長
	図書館	加藤館長

#### 鈴木議長

海の子山の子交歓会で、来年は10月ということであるが、1学期と2学期の間ということか。

#### 菊地係長

秋休みの10月12日から13日にかけて開催する方向で調整を図っている。山形県の方では秋休みがなく、3連休となっているため、土日に開催し、次の日も休みというところで、今回はこのような形で予定している。

#### 鈴木議長

暑い日を避けてということか。他に意見等いかがか。

#### 齋藤委員

ゆりが丘地区の球技大会で親子参加型でやっていた。今までの大人の球技大会は勝負にこだわったところがあったと思う。親子参加型の方に私も参加したが、チームが足りなくなった時に、他のチームの人が助っ人に入ったりしながら人数調整したりして、球技大会ではあるが、子ども達と一緒に見守る大人や競技をする大人たちがスポーツを通して地域交流をしながら楽しんでいる姿があった。子ども達の参加を通して学んだ部分が多くみられた。

新春祝賀会についても、何地区かお酒を抜きにして子供たちも参加できるブースを設けて大人と子どもの交流をというところで、今まで地域の公民館というと高齢の方々を中心とした地域のつどいの場所という印象だったが、下増田の合築を含め、地域の子供達

## 令和5年度第2回名取市社会教育委員の会議 令和5年11月8日(水)

居場所という視点が出てきたことで、地域の中で育ちの循環の輪が生まれるようなイメージに変化してきたのは、コロナ禍を経験してきたからなのかと感じた。今後も各地域で着実に事業を進めていただけたらと思う。質問ではなく意見である。

### 鈴木議長

ご意見感謝する。事務局からいかがか。

### 佐藤課長補佐

職員会議等での議論になるが、いかに取り組みを増やしていくかが課題だと考えている。今日頂いた言葉も会議等で公民館職員に伝え、より一層やる気を出してもらえるようにしたい。

### 伊藤委員

色々な公民館の催しに参加したが、その中でも公民館まつりで中学生や中学校の先生が参加していた。新春祝賀会というと、昔は偉い方だけが集まる場所と思っていたが、少しずつ時代とともに変わってきていると感じている。色々なところで地域の人たちが地域の子ども達と関わることで、地域全体が元気になっている。いい傾向である。

### 和栗委員

4ページの体育大会であるが、開催しないところが増えている。他の公民館では最初から開催しないと決めているのか。

### 佐藤課長補佐

公民館運営協議会で年次計画を立てるが、その際に初めからそちらの方はやらないで、他のところに力を入れるという公民館もあるようである。

### 鈴木議長

公民館ではどの時点で中止になったのか。

### 佐藤課長補佐

だいたい運営協議会が2、3月に開催される。その前に役員会などで方向性が決まっているのではないかと思う。

### 佐藤課長

補足だが、令和5年度はこのようになっているが、コロナの心配があって再開できないところもあった。令和6年度に向けて教育委員会からも開催してくださいということで、公民館の方に働きかけをしているところである。来年度は増田西などでもやる方向で話は進んでいると聞いている。一つ問題なのは、学校側の方から先生方の負担もかなりのものだというので午前中に終わらせたいということである。午前中で終わらせることになると地区の行事が2種目ぐらいしか入れられないとなると、実際やる意味があるのかという話もあり、学校側と地域の意図がかみ合わないという状況もあり、違う形で地域交流を図っていく流れになってきていると思う。令和6年度に向けては、少し増えるのかなと期待しているところである。

### 久米委員

先日、那智が丘公民館まつりに行ったが、公民館を利用している方たちの発表の場となっており、子どもの姿を見かけなかった。他の公民館の流れをみると、コロナ明けから別の方向に行ったのかなと思った。秋まつりにも参加したが、そこには親子で参加している姿

令和5年度第2回名取市社会教育委員の会議 令和5年11月8日(水)

を見かけた。子供を連れてくれば楽しくできるというのもわかるが、公民館まつりもサークルのカラオケだけではなく、みどり台中学校の吹奏楽を呼んだりすると違うと思う。

**齋藤委員**

20代から30代の家庭に関しては、子どもが優先になるので子供が楽しめる環境があればいいと思う。秋まつりだと屋台があつたり、買い物をしたりが楽しみで子どもが行きたいとなるから一緒に行こうかとなる。公民館まつりに保育所の子供達の発表があると、それを見に保護者の方が来て、そのまま公民館まつりを見てもらえるとと思う。

**鈴木議長**

子ども達の参加がキーワードだと思う。子ども達の視点を入れた公民館行事も少しずつ入っていて変わってきている。地域の方々との関わりやニュースポーツを皆でできないかという意見をいただいたので、事務局の方から公民館に声を届けていただければと思う。

**鈴木議長**

次に図書館についてご意見をお願いしたい。

**齋藤委員**

図書館に関して、近年ICTや色々なネット環境が整ってきているが、読書に対する関わり方や認識がかなり変わってきていると思う。本の貸し出し冊数にも影響が出てきていると思う。図書館ではないが、本屋さんの形態も変わってきていて、仙台にある本屋さんは買うのではなく、場所の時間を販売していて、入った場所にある本を読んでいくというのが意外と人気になっている。その空間の環境に価値を見出すところも出てきていると思う。図書館の評価を耳にすると、居心地の良さと雰囲気など評価が高く、そういった部分で利用者が増えていると思う。利用状況の中に満足度調査があると明確なものがみえてくるのではないかと思う。

**鈴木議長**

データの出し方だが、年代別貸出数で70歳以上が一括りになっているが、生涯教育をする立場からすると、80代の方、90代の方のデータも細かく見ていただければと思う。

**和栗委員**

データをみると、30代、40代、70代の貸出が3万を超えているが、どのような本が読まれているか興味がある。分析はどうか。

**加藤館長**

私や司書の捉え方として、30代、40代では育児関係や児童書関係、手芸・料理などが多い。30代、40代、50代の男性だと、ビジネス書や社会科学の利用が多いと思う。60代以降の方では、大活字本というのがあり、文字が通常のフォントより2、3倍大きいものとなり、1冊の本が3分冊に分かれ、すごく読みやすいと好評で、公民館の図書館にも置いてもらっている。高齢の方だと、図書館まで来るのが苦しいということで公民館図書室の利用があるが、そこでも好評である。70代以降の方で、時代小説が好きでリクエストも多い。そういった部分では図書館も積極的に答えるようにしている。

**鈴木議長**

金野委員さんに最初にお聞きするべきところだったのだが、市民大学講座の講師としてやってみてどうであったか。

### 金野委員

今回初めて講師をやらせていただき、いつもは私が参加する立場であるが、参加者同士の話し合いを求めていることがわかって、そういう機会があり勉強になった。

### 鈴木議長

それでは、令和5年度上半期報告については原案の通り承認としてよいか。

ご異議がないようなので承認として決定する。皆さんからいただいたご意見を届けていただくということをお願いしたい。その他について事務局からいかがか。

### 菊地係長

何点かある。1つ目はまなびパスポートについてである。昨年度からプレ事業としてスタートし、5か月間で、マイスター8名、準マイスター2名の計10名が達成者となった。今年度は、5月から本格実施し、8月に1名、10月に1名、計2名が早くも50ポイントを達成しマイスターとなっている。前回プレ事業で達成した方が今回も50ポイント達成され、引き続き取り組んでいる。今後は2月末まで実施し、達成者は3月16日土曜日のまなびフェスティバル当日に表彰を予定している。

2つ目は二十歳を祝う会についてである。令和6年1月7日、日曜日11時から開式を予定している。今回も実行委員会形式で、実行委員7名で現在頑張っている。

3点目は文化協会からのお知らせで、手元に冊子を配付した。文化協会の委員でもある本郷委員が欠席のため事務局から話をさせていただく。文化協会が創立50周年記念を迎えたということで記念誌を作成した。社会教育委員の皆様にもご覧いただきたいということである。

4点目は、次回の会議予定であるが年明け1月24日水曜日を予定している。第3回社会教育委員の会議の後に、第2回生涯学習推進協議会も開催したい。

### 鈴木議長

以上で審議を終了する。ここで議長の席を降りたい。

### 佐藤課長補佐

議長代理である、斎藤委員より閉会の挨拶をいただきたい。

### 齋藤委員

上半期の事業報告を聞いて、魅力ある取り組みが各地域でなされていると実感している。新たな視点を取り入れながら、よりよいまちづくりを推進していけたらと思う。今後とも皆様のご尽力をいただければと思う。

### 佐藤課長補佐

以上をもって、令和5年度第2回名取市社会教育委員の会議の一切を終了する。

## 5 閉 会

14:50 終了

以上